

事業実績シート

1 事業の概要

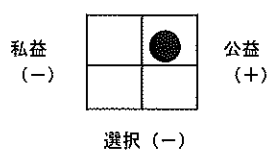
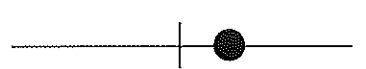
協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	松浦市特産品推奨・販路拡大事業（地域特産品需要拡大支援事業）			
所管局部課	自治体（団体）名	所管部・課名	担当者名	連絡先（TEL）
	松浦市	商工観光課	坂本 秀樹	0956-72-1111
事業期間	開始年	平成27年12月17日（1年目）		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他[補助金]			
実施期間	（開始日）平成27年12月17日		（完了日）平成28年3月31日	
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先（TEL）
	（委託内容）			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）	
	旬さば		松浦市の松浦魚市場において水揚げされている「旬さば」を原料とした缶詰の製造・試験販売を経て、地域資源を活用した新たな特産品開発及び販路開拓、産地の知名度向上を図り、魚食普及につなげるとともに、地域経済の活性化を図る。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	<p>（一社）まつうら観光物産協会が事業主体となり、松浦産旬さば缶詰製作のための県・市・民間合同プロジェクトチームを組織して、缶詰のラベル・商品しおり・化粧箱の制作を完成させ、旬さば原材料及び缶詰（平2号缶）の調達を完了した。</p> <p>缶詰製造会社の相浦缶詰株式会社と旬さば缶詰の製造委託契約を締結し、平成28年度に松浦工場で缶詰製造が可能となった。</p>			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	（事業開始の背景）			
	市内の農水産物等を活用した加工品が少ない現状から、第1弾として水産物の特産品を原料とする商品開発を行うことになった。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	（経緯・現状）			
	平成26年度からプロジェクトチームを組織し、缶詰の商品化に向けて会議を重ね、缶詰のラベル・商品しおり・化粧箱の制作を完成させ、旬さば原材料及び缶詰（平2号缶）の調達が完了し、缶詰製造会社の相浦缶詰株式会社と旬さば缶詰の製造委託契約を締結し、平成28年度に松浦工場で缶詰製造を行うことが決定した。			

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費（円）				2,700,000					
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金			1,000,000					
	一般財源			1,700,000					
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	缶詰のラベル・商品しおり・化粧箱の制作 旬さば原材料及び缶詰の調達	缶詰商品化に向けた準備が目標である。		式	目標			商品化可能
						実績			商品化可能
					目標達成率 (%)				100
	②	缶詰の製造委託契約締結	缶詰製造に向けた準備が目標である。		式	目標			製造可能
						実績			製造可能
					目標達成率 (%)				100

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+)  私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input checked="" type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
	妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 	(影響内容、程度等) 産官民連携による商品開発の第一歩となる取り組みであり、産地のPRや魚食普及、ひいては地域の活性化に大きな影響を与える。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		缶詰の商品化及び製造に向けた準備が整ったため、目標を達成した。		
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地				
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 缶詰の完成から販促活動、テストマーケティングによる事業の検証に至るまでのスキームにつながる計画的な取り組みが必要である。		
	実施予定 期 日	次年度以 降			
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)			
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない					
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)		
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		(一社) まつうら観光物産協会が事業主体となり、県・市・民間参加の会議で事業を進めた。		
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保				
	<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		平成28年度に実施する缶詰の試験販売による売上金は、缶詰等の商品開発のための原資に充当する。		

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	平成28年度に缶詰を製造し、会議を開催して包装紙・販促チラシ・ポスターの制作、福岡都市圏等での販促活動、試験販売を実施する予定である。				